

令和7年度事業概要一覧表

No.	事業番号	019-001	事務事業名	交通安全施設設置（地域整備事務所）	所管局	建設局	所管課	土木監理課	分類	D 建設・整備事業	
1.	基本計画	戦略	5.強しなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 実施との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.7			
	との関連	取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				主な取組	公共施設や都市インフラの計画的な更新・補修の推進			
	事業内容						投入量 (単位:千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見	
交差点改良工事や歩道改良、防護柵、道路標識、道路照明灯、道路反射鏡、道路区画線などの交通安全施設の設置を行う。  (令和6年度実績) 要望等対応件数 1,667件					事業費(a)			R5決算	R6決算	R7予算	交通事故件数や市民からの施設設置要望等を勘案し、必要性の高い箇所を精査したり、定期的なパトロールを実施し、道路施設の損傷を早期把握することで、効果的・効率的に交通安全施設の充実・更新を行った。  今後とも交通管理者等と連携しながら、道路管理者として必要な交通安全施設の設置など交通安全対策を進め、歩行者・車両等の安全を図る必要がある。
					うち一般財源			45,383	109,215	35,000	
					主な 内 訳	交通安全施設維持管理計画等委託料		5,099	4,753	6,500	
						交通安全施設設置工事費		215,184	229,462	224,000	
					人件費(b)			49,248	41,310	38,640	
					年間経費(c) = (a)+(b)			269,531	275,525	269,140	
No.	事業番号	019-002	事務事業名	舗装補修マネジメント事業	所管局	建設局	所管課	土木監理課	分類	D 建設・整備事業	
2.	基本計画	戦略	5.強しなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 実施との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.7			
	との関連	取組の方向性	①計画的な長寿命化の推進				主な取組	公共施設や都市インフラの計画的な更新・補修の推進			
	事業内容						投入量 (単位:千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見	
本市で管理する道路約2,100kmのうち、幹線道路等約320kmについて、舗装の長寿命化計画を策定し、定期点検による状態把握・診断を行い、予防保全の概念を取り入れ、舗装の補修・更新を計画的に実施する。 その結果、道路を安全・安心に通行できる道路機能を確保し、また、維持管理費の平準化を図る。  (令和6年度実績) 舗装補修工事 7.0km					事業費(a)			R5決算	R6決算	R7予算	舗装の長寿命化計画に基づき事業を実施することで、維持管理の効率化と予算の平準化を図っている。  また、防災・安全交付金や公共施設等適正管理推進事業債を財源に充当することで、本市の歳出を削減している。  資材価格の高騰などの社会的影響により、必要となる維持管理費が増加することによる計画の遅れが懸念されるため、新技術の導入による低コスト化に向けた取組や、財源の確保に向けた国への要望を引き続き行う必要がある。
					うち一般財源			22,465	57,459	97,925	
					主な 内 訳	計画策定等委託料		35,289	37,879	63,000	
						舗装補修工事		842,655	549,925	989,950	
					人件費(b)			90,882	85,860	86,520	
					年間経費(c) = (a)+(b)			968,826	673,664	1,139,470	

令和7年度事業概要一覧表

No.	事業番号	019-003	事務事業名	一般道路新設改良（地域整備事務所）	所管局	建設局	所管課	土木監理課	分類	D 建設・整備事業	
3	基本計画	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 実施との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.7			
	との関連	取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				主な取組	公共施設や都市インフラの計画的な更新・補修の推進			
	事業内容			投入量 (単位：千円)			費用対効果（事業の効率性）に係る所見				
車両や歩行者等の安全な通行と利便性向上のため、狭あいな道路については、道路擁壁の改良や道路と縦断的に隣接している水路の暗渠化など、道路の拡幅を行う。  (令和6年度実績) 道路改良工事延長 201m	事業費(a)		69,362	51,414	17,000	市民からの要望等を勘案し、必要性の高い箇所から路面の改良などを行うことで、通行の安全や通行空間を確保した。 また、令和4年度から令和6年度にかけて、広域緊急交通路に指定されている路線に対し、出水時の土砂流出などによる通行止め被害を防ぐことを目的とした道路法面対策事業を実施した。  改良工事による通行の安全や利便性の向上程度、危険度等を考慮しながら、道路擁壁改良や水路の暗渠化、側溝の勾配不良改善など事業を推進することは、通行安全の確保だけでなく生活環境にも寄与するなど効率的であるため、引き続き当該事業を行っていく必要がある。					
	うち一般財源		6,362	7,014	1,800						
	主な内訳	道路測量等設計等委託料		1,847	0		1,500				
		道路新設改良工事		67,515	51,414		15,500				
	人件費(b)		19,440	10,530	4,200						
	年間経費(c) = (a)+(b)		88,802	61,944	21,200						
No.	事業番号	019-004	事務事業名	舗装補修	所管局	建設局	所管課	土木監理課	分類	D 建設・整備事業	
4	基本計画	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 実施との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.7			
	との関連	取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				主な取組	公共施設や都市インフラの計画的な更新・補修の推進			
	事業内容			投入量 (単位：千円)			費用対効果（事業の効率性）に係る所見				
既設道路の舗装について、道路パトロールや市民からの要望等をもとに、現場確認を行い、緊急性の高い箇所から速やかに補修を行う。  (令和6年度実績) 要望対応件数 1,195件	事業費(a)		744,486	777,554	745,511	舗装の損傷箇所について、緊急性の高い箇所から速やかに舗装補修を行った。また、LINEによる通報システムも活用して、早期に効率的に補修することができた。 社会基盤である道路舗装は、安全・安心のため道路管理者として最も重要な事業であるため、舗装補修マネジメント事業とあわせて引き続き事業を実施していく必要がある。					
	うち一般財源		24,324	526,054	109,811						
	主な内訳	舗装補修工事設計		2,366	2,953		6,000				
		舗装補修工事費		727,312	764,319		721,511				
		負担金		14,808	10,282		18,000				
	人件費(b)		57,024	77,760	66,360						
	年間経費(c) = (a)+(b)		801,510	855,314	811,871						

令和7年度事業概要一覧表

No.	事業番号	019-005	事務事業名	河川水路維持（地域整備事務所）	所管局	建設局	所管課	土木監理課	分類	D 建設・整備事業	
5	基本計画	戦略	—			SDG's 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	—			
	2025 の施策	施策	—				ターゲット	—			
	との関連	取組の方向性	—				主な取組	—			
	事業内容						投入量（単位：千円）			費用対効果（事業の効率性）に係る所見	
管理河川及び水路の構造物の修繕及び除草・清掃・浚渫等を行う。 （令和6年度実績） 要望対応件数 189件					事業費(a)		R5決算	R6決算	R7予算	市民からの要望等を勘案し、水災害の未然防止や水路の老朽化対策等のため、水路の補修等を行った。 ゲリラ豪雨等の水災害等の増加を踏まえると、市街地における小規模な管理河川や水路の維持管理は重要であるため、引き続き事業を実施していく必要がある。	
					うち一般財源		7,657	7,966	11,680		
					主な 内 訳	水路構造物ほか修繕料等		612	1,511		3,854
						浚渫等委託料		1,081	1,097		2,200
						水路等整備工事費		5,576	4,839		5,000
						調整池観測局盤通信回線使用料		388	519		626
					人件費(b)		4,050	4,050	4,200		
					年間経費(c) = (a)+(b)		11,707	12,016	15,880		
No.	事業番号	019-015	事務事業名	道路構造物アセットマネジメント事業	所管局	建設局	所管課	土木監理課	分類	D 建設・整備事業	
6	基本計画	戦略	5.強しなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDG's 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(Ⅱ)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.7			
	との関連	取組の方向性	①計画的な長寿命化の推進				主な取組	公共施設や都市インフラの計画的な更新・補修の推進			
	事業内容						投入量（単位：千円）			費用対効果（事業の効率性）に係る所見	
道路を構成する構造物（トンネル、ボックスカルバート、道路照明施設、道路標識等）について、長寿命化計画を策定し、点検・診断・措置（補修・更新）・記録のメンテナンスサイクルを構築し、計画的に維持管理を行う。 その結果、道路を安全・安心に通行できる道路機能を確保し、また維持管理費の平準化を図る。 （令和6年度実績） トンネル 点検：2箇所 ボックスカルバート(小型) 点検：4箇所 ボックスカルバート(大型) 点検：2箇所 道路標識(門型) 点検：29基 道路標識(大型) 点検：178基 道路照明施設 点検：952基 更新工事：84基					事業費(a)		R5決算	R6決算	R7予算	各施設の長寿命化計画に基づき事業を実施することで、維持管理の効率化と予算の平準化を図っている。 また、道路メンテナンス事業国庫補助金、公共施設等適正管理推進事業債を財源に充当することで、本市の歳出を削減している。 施設の老朽化や資材価格の高騰などの社会的影響により、必要となる維持管理費が増加することによる計画の遅れが懸念されるため、新技術の導入による低コスト化に向けた取組や、財源の確保に向けた国への要望を引き続き行う必要がある。	
					うち一般財源		214,256	174,226	439,049		
					主な 内 訳	各種調査委託料		79,134	87,374		245,908
						整備工事費		134,759	86,259		192,500
						負担金及び通信運搬費		363	593		641
					人件費(b)		45,360	50,220	69,960		
					年間経費(c) = (a)+(b)		259,616	224,446	509,009		



令和7年度事業概要一覧表

No.	事業番号	019-029	事務事業名	法定外公共物管理事務	所管局	建設局	所管課	法定外公共物課	分類	B 法定義務等事業	
9	基本計画	戦略	—			SDG's 未来都市 計画の 実施との関連	ゴール	—			
	2025 の施策	施策	—				ターゲット	—			
	との関連	取組の方向性	—				主な取組	—			
	事業内容			投入量 (単位: 千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見				
	地方分権一括法により、国から譲与を受けた法定外公共物について、財産管理者として、適正に使用許可、用地処理（売却等）、境界確定等を行う。 ①電気・ガス・水道等の法定外公共物の使用許可に関する事務 令和6年度新規許可件数 216件 ②売り払い等の用地処理に関する事務 令和6年度売り払い実績 13件 259.45㎡ 6,204,756円 ③境界確定協議に関する事務 令和6年度境界確定協議件数 217件 令和6年度謄抄本交付件数 90件 令和6年度情報提供件数 1,479件			事業費(a)		R5決算	R6決算	R7予算	・様々な情報を集約した法定外公共物管理システムを活用し、財産管理事務（使用許可、用地処理、境界確定等）を行うに当たったの審査、調査等を効率的に実施している。 ・申請書類の受付等について、電子申請システムの活用により、サービスの向上と業務の効率化を図っている。 ・売却することが適当な市有地について、事前に概算金額を先方に提示することで売却を促進し、収入の確保と維持管理費の削減につなげている。		
				うち一般財源		17,441	19,614	21,278			
				主な内訳	法定外公共物管理台帳作成業務等委託料	6,541	7,879	8,827			
					報酬・期末手当	8,151	9,246	9,410			
					情報システム機器借上料	1,026	1,084	1,068			
					その他（消耗品費等）	1,723	1,405	1,973			
人件費(b)				98,900	98,600	107,800					
年間経費(c) = (a)+(b)		116,341	118,214	129,078							
No.	事業番号	019-030	事務事業名	内川排水機場維持管理	所管局	建設局	所管課	河川水路課	分類	D 建設・整備事業	
10	基本計画	戦略	5.強しなやかな都市基盤 ~Resilient~			SDG's 未来都市 計画の 実施との関連	ゴール	ゴール(住)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.5,11.b			
	との関連	取組の方向性	①計画的な長寿命化の推進				主な取組	住宅、公共施設、都市インフラの災害対策の推進			
	事業内容			投入量 (単位: 千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見				
	・内川排水機場は設置から40年以上が経過していることから、施設の延命化を図るため、長寿命化計画に基づき、各機器の整備・更新を行う。 ・排水ポンプが常に正常な運転ができる状態に保つために、各種点検を行う。			事業費(a)		R5決算	R6決算	R7予算	長寿命化計画等に基づく各機器の延命化、費用の平準化及び機能の向上を実施した。具体的には、「内川排水機場2号減速機整備工事」を、令和6年度から令和8年度までの工期で契約締結し、後続作業の準備を行った。また、令和4年度から契約締結している「内川排水機場3号ポンプ整備工事」を工事完了させ、令和5年度から契約締結している「内川排水機場1号ポンプ整備工事」は、令和7年度の工事完了に向け現場作業を実施した。 なお、財源に国交省からの補助金及び公共施設等適正管理推進事業債(長寿命化事業)を充当し、効果的かつ効率的に事業実施している。		
				うち一般財源		63,706	208,494	182,733			
				主な内訳	施設運転監視等委託等	47,512	52,822	53,000			
					内川排水機場2号減速機整備工事	0	0	23,100			
					内川排水機場3号ポンプ整備工事	0	90,033	0			
					内川排水機場1号ポンプ整備工事	0	50,100	76,000			
その他				16,194	15,539	30,633					
人件費(b)		14,580	14,580	15,120							
年間経費(c) = (a)+(b)		78,286	223,074	197,853							



令和7年度事業概要一覧表

No.	事業番号	019-045	事務事業名	南花田鳳西町線（金岡・白鷺地区）	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	D 建設・整備事業		
13	基本計画	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(11)住み続けられるまちづくりを				
	2025 の施策	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2				
	との関連	取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				主な取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化				
	事業内容						投入量 (単位：千円)			費用対効果（事業の効率性）に係る所見		
本市の環状道路ネットワークの形成により、並行する常磐浜寺線をはじめとする主要道路の慢性的な渋滞を緩和するとともに、物流の効率化や商業立地を促進するもの。また、周辺地域の緊急車両の通行及び災害時の避難路として、救急、救援活動を支援する機能を高める。 都市計画決定：昭和33年1月25日 事業認可：平成27年2月23日～令和9年3月31日 事業区間：北区金岡町～東区白鷺町 路線延長：L=1,850m 道路幅員：W=22～45m 車線数：4車線 令和6年度は、道路築造工事に着手した。用地取得に向けた測量及び物件調査を進め、また、特別会計からの用地再取得を実施した。					事業費(a)			R5決算	R6決算	R7予算	一定のまとまった用地が取得できたため、早期の道路供用をめざし、道路築造工事に着手した。また、未取得用地の取得に向け、測量及び物件調査を進めた。 なお、財源に国交省からの補助金を充当し、効果的・効率的に事業実施している。 用地取得率：78%	
					うち一般財源			283,707	19,611	506,926		
					主な内訳	工事費			1,420	12,090		378,900
						用地費			26,244	2,000		79,226
						測量等委託費			253,387	3,566		45,700
						物件移転補償金			0	0		0
						その他			2,656	1,955		3,100
					人件費(b)			9,309	8,672	14,483		
年間経費(c)=(a)+(b)			293,016	28,283	521,409							
No.	事業番号	019-047	事務事業名	錦浜寺南町線	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	D 建設・整備事業		
14	基本計画	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(11)住み続けられるまちづくりを				
	2025 の施策	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2				
	との関連	取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				主な取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化				
	事業内容						投入量 (単位：千円)			費用対効果（事業の効率性）に係る所見		
国道26号、府道堺阪南線の慢性的な渋滞を緩和し、生活道路への通過交通を抑制する。また、津波避難の指定地域であることから、緊急車両の通行及び災害時の避難路として、救急、救援活動を支援する機能を高める。 都市計画決定：昭和21年5月22日 事業認可：令和2年3月12日～令和9年3月31日 事業区間：西区浜寺石津町東～西区浜寺船尾町西 路線延長：L=534m 道路幅員：W=25m 車線数：2車線 橋梁 1橋（橋長56.0m） 令和6年度は、橋梁予備設計を実施し、地質調査に着手した。					事業費(a)			R5決算	R6決算	R7予算	関係機関等との協議を進めながら橋梁予備設計を実施した。また、橋梁詳細設計に向け、地質調査に着手した。 なお、財源に国交省からの交付金を充当し、効果的・効率的に事業実施している。 用地取得率：100%	
					うち一般財源			7,300	20,903	7,182		
					主な内訳	工事費			0	0		0
						用地費			0	0		0
						測量等委託費			7,300	20,903		7,182
						物件移転補償金			0	0		0
						その他			0	0		0
					人件費(b)			9,309	8,672	14,483		
年間経費(c)=(a)+(b)			16,609	29,575	21,665							

令和7年度事業概要一覧表

No.	事業番号	019-048	事務事業名	草尾南野田線	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	D 建設・整備事業
15	基本計画	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 実施との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを		
	2025 の施策	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2		
	との関連	取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				主な取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化		
	事業内容			投入量 (単位:千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見			
国道310号から南海高野線北野田駅へのアクセス機能向上と地域の交通ネットワークの強化を図る。また、周辺地域の緊急車両の通行及び災害時の避難路として、救急、救援活動を支援する機能を高める。 都市計画決定：昭和40年7月29日 事業認可：平成26年5月28日～令和11年3月31日 事業区間：東区草尾～東区西野 路線延長：L=723m 道路幅員：W=18m 車線数：2車線 令和6年度は、工事中進入路整備工事に着手した。電線共同溝詳細設計及び用地取得に向けた物件調査等を実施し、また、特別会計からの用地再取得を実施した。			事業費(a)	R5決算	16,476	R6決算	28,949	R7予算	85,482	一定のまとまった用地が取得できたため、早期の道路供用をめざし、工事中進入路の整備工事に着手した。また、道路築造工事と並行して進める無電柱化工事に向け、電線共同溝詳細設計を実施した。また、未取得用地の取得に向け、測量及び物件調査を実施した。 なお、財源に国交省からの交付金を充当し、効果的・効率的に事業実施している。 用地取得率：82%
			うち一般財源	4,386	18,690	15,232				
			主な内訳	工事費	0	10,100	63,170			
				用地費	9,780	3,405	21,340			
				測量等委託費	6,333	9,777	500			
				物件移転補償金	0	0	0			
			その他	363	5,667	472				
			人件費(b)	9,309	8,672	14,483				
年間経費(c)=(a)+(b)	25,785	37,621	99,965							
No.	事業番号	019-049	事務事業名	大阪河内長野線（南余部・北野田地区）	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	D 建設・整備事業
16	基本計画	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 実施との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを		
	2025 の施策	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2		
	との関連	取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				主な取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化		
	事業内容			投入量 (単位:千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見			
府道大阪狭山線のバイパス道路として、交通分散を図り、渋滞緩和に寄与する。また、周辺地域の緊急車両の通行及び災害時の避難路として、救急、救援活動を支援する機能を高める。 都市計画決定：昭和45年8月17日 事業認可：平成25年2月15日～令和3年3月31日 事業区間：美原区南余部～東区北野田 路線延長：L=500m 道路幅員：W=35m 車線数：4車線 橋梁 1橋（橋長23.4m） 令和6年度は、本線にアクセスする階段設置工事を実施した。			事業費(a)	R5決算	800	R6決算	9,383	R7予算	0	緊急時に本線を避難路として活用できるよう沿道から本線へのアクセスを向上させるための階段整備工事を実施し、都市防災機能を向上させた。これにより、大阪河内長野線（南余部・北野田地区）事業は完了した。
			うち一般財源	800	2,383	0				
			主な内訳	工事費	0	9,383	0			
				用地費	0	0	0			
				測量等委託費	800	0	0			
				物件移転補償金	0	0	0			
			その他	0	0	0				
			人件費(b)	9,309	8,672	0				
年間経費(c)=(a)+(b)	10,109	18,055	0							

令和7年度事業概要一覧表

No.	事業番号	019-050	事務事業名	阪神高速道路(株)の事業に対する出資金	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	B 法定義務等事業	
17	基本計画	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ~Resilient~			SDGs 未来都市 計画の 実施との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2			
	との関連	取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				主な取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化			
	事業内容					投入量 (単位:千円)			費用対効果(事業の効率性)に係る所見		
	(独)日本高速道路保有・債務返済機構に対し、現在事業中の阪神高速道路の新設・改築に要する費用の一部を独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構法に基づき出資している。					事業費(a)			7,000	7,000	7,000
						うち一般財源			700	700	700
						出資金			7,000	7,000	7,000
主な内訳											
人件費(b)						9,309	14,747	7,950			
年間経費(c)=(a)+(b)						16,309	21,747	14,950			
								(独)日本高速道路保有・債務返済機構に対し、現在事業中の阪神高速道路の新設・改築に要する費用の一部を独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構法に基づき出資している。本出資により阪神高速淀川左岸線2期工事の推進に寄与している。			
No.	事業番号	019-052	事務事業名	大阪河内長野線(八下地区)	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	D 建設・整備事業	
18	基本計画	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ~Resilient~			SDGs 未来都市 計画の 実施との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2			
	との関連	取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				主な取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化			
	事業内容					投入量 (単位:千円)			費用対効果(事業の効率性)に係る所見		
	府道大阪狭山線は十分な歩行者空間が確保されておらず、自動車交通も混雑している状況であることから、この課題を早期に解消するため、特に渋滞が多発している野遠石原町交差点南側において道路拡幅を実施するものである。 都市計画決定：昭和45年8月17日 事業認可：平成28年3月29日～令和8年3月31日 事業区間：東区八下町 路線延長：L=220m 道路幅員：W=35m 車線数：4車線 令和6年度は、道路拡幅工事の着手に向けた警察及び占用者協議を実施した。また、物件調査及び特別会計からの用地再取得を実施した。					事業費(a)			16,222	48,833	256,291
						うち一般財源			10,268	26,515	13,576
						工事費			0	3,863	108,000
用地費						0	40,580	141,391			
測量等委託費						14,641	3,252	1,500			
物件移転補償金						0	0	0			
その他			1,581	1,138	5,400						
人件費(b)			9,309	8,672	14,483						
年間経費(c)=(a)+(b)			25,531	57,505	270,774						
								中央環状線との交差点付近において、一定のまとまった用地が取得できたことから、渋滞緩和を目的とした道路拡幅工事の早期着手に向け、警察協議を実施した。 また、未取得用地の取得に向け、物件調査及び用地交渉を行い、着実に用地取得を進めた。 なお、財源に国交省からの補助金を充当し、効果的・効率的に事業実施している。 用地取得率：71% (令和6年度 5%増)			

令和7年度事業概要一覧表

No.	事業番号	019-053	事務事業名	大阪河内長野線（北野田地区）	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	D 建設・整備事業	
19	基本計画	戦略	5.強しなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 実施との関連	ゴール	ゴール(11)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2			
	との関連	取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				主な取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化			
	事業内容			投入量 (単位：千円)			費用対効果（事業の効率性）に係る所見				
本市東部地域の軸となる幹線道路の整備により、並行する国道309号や府道大阪狭山線をはじめとする主要道路の慢性的な渋滞を緩和し、交通環境の改善を図る。また、周辺地域の緊急車両の通行及び災害時の避難路として、救急、救援活動を支援する機能を高め、火災時の延焼遮断機能の強化を図る。 都市計画決定：昭和45年8月17日 事業認可：令和2年3月6日～令和9年3月31日 事業区間：東区北野田地内 路線延長：L=670m 道路幅員：W=35m 車線数：4車線 令和6年度は、用地取得に向けた測量及び物件調査を実施した。また、特別会計からの用地再取得を実施した。			事業費(a)	R5決算	R6決算	R7予算	境界が確定した箇所から順次物件調査及び用地交渉を行い、着実に用地取得を進めた。 なお、財源に国交省からの補助金を充当し、効果的・効率的に事業実施している。 用地取得率：8%（令和6年度 1%増）				
			うち一般財源	4,912	16,482	7,828					
			主な内訳	工事費	1,320	0					0
				用地費	0	20,979					0
				測量等委託費	4,883	7,886					27,310
				物件移転補償金	0	0					0
			その他	951	1,191	2,070					
人件費(b)	9,309	8,672	14,483								
年間経費(c)=(a)+(b)	16,463	38,728	43,863								
No.	事業番号	019-054	事務事業名	大阪和泉泉南線（南陵町交差点）	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	D 建設・整備事業	
20	基本計画	戦略	5.強しなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 実施との関連	ゴール	ゴール(11)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2			
	との関連	取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				主な取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化			
	事業内容			投入量 (単位：千円)			費用対効果（事業の効率性）に係る所見				
当該交差点南側の北行車線の車線数を増設することで、渋滞緩和及び交通事故の抑制を図る。 都市計画決定：昭和21年5月22日 事業認可：平成29年3月9日～令和9年3月31日 事業区間：堺区霞ヶ丘町1丁ほか 延長：L=131m 道路幅員：W=22m 車線数：4車線 令和6年度は、用地取得に向けた測量及び物件調査を実施した。			事業費(a)	R5決算	R6決算	R7予算	交差点改良工事の早期着手をめざし、物件調査及び用地交渉を行い、着実に用地取得を進めた。 なお、財源に国交省からの補助金を充当し、効果的・効率的に事業実施している。 用地取得率：42%（令和6年度 8%増）				
			うち一般財源	2,035	1,784	1,410					
			主な内訳	工事費	0	294					300
				用地費	0	0					8,000
				測量等委託費	1,620	2,209					2,500
				物件移転補償金	0	0					0
			その他	415	95	510					
人件費(b)	9,309	8,672	14,483								
年間経費(c)=(a)+(b)	11,344	11,270	25,793								

令和7年度事業概要一覧表

No.	事業番号	019-056	事務事業名	交通安全施設設置（道路整備課）	所管局	建設局	所管課	道路整備課	分類	D 建設・整備事業	
21	基本計画	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を			
	2025 の施策	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	3.6			
	との関連	取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				主な取組	道路の交通安全対策の推進			
	事業内容						投入量 (単位：千円)			費用対効果（事業の効率性）に係る所見	
交通安全についての対策が必要な道路や踏切道の安全向上等を目的とし、歩道設置や踏切改良等を実施する。 (令和6年度実施内容) ・踏切道内誘導表示の整備工事（4箇所） ・踏切道の改良に伴う検討業務					事業費(a)		R5決算	R6決算	R7予算	綿密な調査に基づき、適切な設計手法の検討や整備の影響範囲を必要最低限とすることで、効果的・効率的に事業を実施している。	
					うち一般財源		14,967	27,425	77,400		
					主な 内 訳	設計、測量等		8,967	4,761		6,900
						工事費		9,969	10,261		42,500
								4,998	17,164		34,900
					人件費(b)		12,023	20,202	21,000		
					年間経費(c)=(a)+(b)		26,990	47,627	98,400		
No.	事業番号	019-057	事務事業名	直轄国道負担金	所管局	建設局	所管課	道路整備課	分類	B 法定義務等事業	
22	基本計画	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(11)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2			
	との関連	取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				主な取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化			
	事業内容						投入量 (単位：千円)			費用対効果（事業の効率性）に係る所見	
地方財政法第17条の2の規定及び道路法第53条等に基づき、直轄国道（国道26号）で実施する事業について負担金を支出する。 (令和6年度の主な事業) 住吉橋架替事業、電線共同溝事業等					事業費(a)		R5決算	R6決算	R7予算	本事業は、直轄国道（国道26号）で実施する事業に対して一定割合の費用を負担するものであり、国が計画的に事業を実施している。	
					うち一般財源		226,333	502,667	273,200		
					主な 内 訳	負担金		1,633	7,167		8,900
								226,333	502,667		273,200
					人件費(b)		810	810	840		
					年間経費(c)=(a)+(b)		227,143	503,477	274,040		

令和7年度事業概要一覧表

No.	事業番号	019-058	事務事業名	一般道路新設改良（道路整備課）	所管局	建設局	所管課	道路整備課	分類	D 建設・整備事業	
23	基本計画	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 実施との関連	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を			
	2025 の施策	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	3.6			
	との関連	取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				主な取組	道路の交通安全対策の推進			
	事業内容					投入量 (単位：千円)			費用対効果（事業の効率性）に係る所見		
	生活道路及び幹線道路について、道路を新設・拡幅することで、利便性、快適性及び安全性を向上させる。 (令和6年度実施内容) ・道路拡幅工事 2か所 (石原14号線道路改良事業、阿弥25号線道路改良事業)					事業費(a)		R5決算	R6決算	R7予算	綿密な調査に基づき、適切な設計手法の検討や整備の影響範囲を必要最低限とすることで、効果的・効率的に事業を実施している。
						うち一般財源		136,415	107,310	149,102	
						主な 内 訳	工事設計、測量等委託	24,896	30,086	30,312	
							工事費	45,735	27,708	48,090	
							用地費・補償費	83,755	68,023	59,000	
							その他（役務費、需用費、負担金等）	6,826	9,301	37,893	
人件費(b)						99	2,278	4,119			
年間経費(c) = (a)+(b)						31,590	31,590	32,760			
		168,005	138,900	181,862							
No.	事業番号	019-061	事務事業名	南海本線連続立体交差事業	所管局	建設局	所管課	連続立体推進課	分類	D 建設・整備事業	
24	基本計画	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 実施との関連	ゴール	ゴール(11)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2			
	との関連	取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				主な取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化			
	事業内容					投入量 (単位：千円)			費用対効果（事業の効率性）に係る所見		
	鉄道高架延長：約2.7km 踏切除却数：7箇所 高架化される駅：諏訪ノ森駅、浜寺公園駅 概算事業費：約423億円  令和6年度実施内容 ・鉄道仮線工事、一部高架工事 ・占用物移設工事 ・鉄道事業者と連携し、地域住民への周知、説明を実施					事業費(a)		R5決算	R6決算	R7予算	・事業スケジュールに基づき、鉄道事業者や関係者と調整を十分に行い、概ね予定通りの工事進捗を確保することができた。 ・工事進捗に応じた関連工事の一体施工などの創意工夫とあわせて、財源に国交省からの補助金を充当し、効果的・効率的に事業に取り組むことができた。
						うち一般財源		4,478,386	2,203,415	7,131,596	
						主な 内 訳	鉄道事業者施行及び 占用物件負担金	514,601	1,045,614	303,346	
							物件移転補償金	4,247,376	2,067,890	6,889,944	
							委託料	48,523	103,465	143,000	
							工事請負費	10,052	8,585	8,000	
その他							12,945	0	2,500		
人件費(b)						159,490	23,475	88,152			
年間経費(c) = (a)+(b)		44,100	44,300	45,800							
		4,522,486	2,247,715	7,177,396							

令和7年度事業概要一覧表

No.	事業番号	019-062	事務事業名	南海高野線連続立体交差事業	所管局	建設局	所管課	連続立体推進課	分類	D 建設・整備事業	
25	基本計画	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 実施との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2			
	との関連	取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				主な取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化			
	事業内容						投入量 (単位:千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見	
鉄道高架延長：約3.2km 踏切除却数：10箇所 高架化される駅：浅香山駅、堺東駅 概算事業費：約565億円  令和6年度実施内容 ・鉄道調査設計 ・鉄道準備工事 ・用地測量 ・物件調査 ・事業用地取得					事業費(a)			R5決算	R6決算	R7予算	・令和3年度末に事業認可を取得、事業に着手し、測量や物件調査を進め、地権者の事情に配慮した説明を行うことで、着実に事業用地の取得を進めることができた。 ・鉄道事業者との協議・調整を行い、鉄道工事に関する調査設計を進め、鉄道準備工事に着手した。 ・財源に国交省からの補助金を充当し、効果的・効率的に事業実施している。
					うち一般財源			10,605	27,261	99,723	
					主な内訳	工事設計、測量及び地質調査等委託業務	136,223	0	4,000		
						支障物件調査業務	20,721	40,171	384,172		
						用地測量等業務	0	25,014	32,230		
						鉄道事業者施行及び占有物件負担金	0	150,000	708,000		
					その他			13,094	12,081	95,800	
人件費(b)			43,100	37,400	45,000						
年間経費(c) = (a)+(b)			213,138	264,666	1,269,202						
No.	事業番号	019-063	事務事業名	出島百舌鳥線	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	D 建設・整備事業	
26	基本計画	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 実施との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2			
	との関連	取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				主な取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化			
	事業内容						投入量 (単位:千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見	
来訪者や道路利用者の利便性向上と、駅前広場整備による交通結節点機能の向上及び安全で快適な駅前空間、歩道と車道を分離し、安全で快適な歩行者空間の確保を図る。 都市計画決定：昭和21年5月22日 事業認可：平成28年3月30日～令和10年3月31日 事業区間：堺区百舌鳥夕雲町ほか 路線延長：L=450m 道路幅員：W=16m 駅前広場：A=2,460㎡ 車線数：2車線 令和6年度は、駅前歩道整備工事に着手した。用地取得に向けた物件調査を実施し、また、特別会計からの用地再取得を実施した。					事業費(a)			R5決算	R6決算	R7予算	世界遺産である仁徳天皇陵の玄関口となるJR百舌鳥駅前広場の整備を推進するため、駅前広場予定地における取得済み用地を活用し、歩道整備工事に着手した。また、物件調査及び用地交渉を行い、着実に用地取得を進めた。 なお、財源に国交省からの補助金を充当し、効果的・効率的に事業実施している。 用地取得率：47% (令和6年度 13%増)
					うち一般財源			4,598	64,733	23,921	
					主な内訳	工事費	0	1,737	73,360		
						用地費	0	109,266	109,776		
						測量等委託費	8,570	22,821	14,600		
						物件移転補償金	0	0	4,000		
					その他			369	2,739	3,265	
人件費(b)			9,309	8,672	14,483						
年間経費(c) = (a)+(b)			18,248	145,235	219,484						

令和7年度事業概要一覧表

No.	事業番号	019-068	事務事業名	公園施設管理事業	所管局	建設局	所管課	公園監理課	分類	D 建設・整備事業				
27	基本計画	戦略	5.強しなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを						
	2025 の施策	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.7						
	との関連	取組の方向性	③新技術や民間技術力の活用				主な取組	民間活力を活用した魅力的な公園の運営						
	事業内容						投入量 (単位:千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見				
都市環境の良好な景観の形成に寄与し、公園を快適に利用頂くため、既存の施設や樹木等については適切かつ効率的な維持管理・保全を行う。特にクビアカツカミキリによる桜や梅への被害拡大を防ぐため、薬剤散布やネット巻き等の対策を行う。また、行政主導による維持管理中心の公園管理から、多様な主体との連携・協働による経営的視点・利用者の視点に立って、都市公園の管理運営を戦略的に推進する公園管理への転換を図る。公園の維持管理費を縮減し、より質の高い公園サービスを公園利用者に提供することで、公園の活性化を図る。 【令和6年度の実施内容】 ・樹木剪定や清掃等の維持管理業務、公園施設の修繕や改修工事、公園管理に要する光熱水費 等 ・P-PFI事業の推進、指定管理による施設運営、公園愛護会活動支援					事業費(a)			R5決算	R6決算	R7予算	・競争入札による電気使用料の縮減（平成29年度より継続）等、維持管理費用の縮減を実施している。 ・効率的な維持管理や電気使用料の削減等を目的に、公園照明灯のLED化を実施している。 ・原池公園などでのP-PFI事業を活用した取り組みに加え、新たに美原ふる里公園では、地元企業との協力により、維持管理費の縮減・施設の相互利用による利便性向上・賑わいの創出に寄与している。			
					うち一般財源			2,005,591	1,969,494	2,356,230				
					主な内訳	維持管理業務等			1,603,242	1,664,736				1,897,114
						施設修繕・改修等			1,019,456	1,085,036				1,329,601
						その他維持管理経費			407,131	339,102				415,582
						指定管理料等			202,467	196,568				244,474
					公園愛護会関連事業費			260,875	235,669	239,387				
人件費(b)			115,662	113,119	127,186									
年間経費(c) = (a)+(b)			383,490	375,810	408,000									
			2,389,081	2,345,304	2,764,230									
No.	事業番号	019-074	事務事業名	堺市緑の政策審議会	所管局	建設局	所管課	公園緑地整備課	分類	F 審議会・協議会等運営事業				
28	基本計画	戦略	5.強しなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(5)陸の豊かさを守ろう						
	2025 の施策	施策	(3) ゼロカーボンシティの推進				ターゲット	15.1,15.2,15.5						
	との関連	取組の方向性	④生態系や緑の保全				主な取組	都市緑化の推進						
	事業内容						投入量 (単位:千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見				
本審議会は、市長の附属機関として委員14人（市議会議員2人、学識経験者7人、市長が適当と認める者5人）で組織されており、市長の諮問を受けて、緑の基本計画やその他緑の保全と創出に関する重要事項について、調査、審議を行うものである。 【令和6年度の開催概要】 ・令和6年10月8日（火）第1回堺市緑の政策審議会開催 議事：堺市緑の基本計画における各取組事業の進捗状況について					事業費(a)			170	197	539	・第1回審議会:出席委員 10/14人、会議時間 1時間30分 ・審議会の報告内容について各委員へ事前説明を実施し、意見交換を行った。 ・審議会を開催し、堺市緑の基本計画における各取組事業と緑の目標の現状値について、事業進捗シート等により報告を行った。 ・各委員から計画の進捗管理における課題の提起や各取組みへのご意見を頂いたことで計画の実施や、評価の改善につなげることができた。			
					うち一般財源			170	197	539				
					主な内訳	堺市緑の政策審議会 委員報酬			102	102				429
						印刷製本費			68	95				100
						費用弁償（その他）			0	0				10
					人件費(b)			8,100	8,100	8,400				
年間経費(c) = (a)+(b)			8,270	8,297	8,939									

令和7年度事業概要一覧表

No.	事業番号	019-096	事務事業名	道路橋りょう維持	所管局	建設局	所管課	土木監理課	分類	D 建設・整備事業	
29	基本計画	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 実施との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.7			
	との関連	取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				主な取組	公共施設や都市インフラの計画的な更新・補修の推進			
	事業内容			投入量 (単位:千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見				
道路の清掃や除草、街路樹の管理、道路上にある土木施設の維持・管理・修繕等を行う。特にクビアカツヤカミキリによる桜等への被害拡大を防ぐため、薬剤散布やネット巻き等の対策を行う。  (令和6年度実績) 路面清掃延べ延長 12,678km				事業費(a)	1,801,010	2,010,130	2,052,197	道路を良好な状態に保つため、車道等の清掃、道路附属物の補修、街路樹の剪定等の維持管理を行った。 安全・安心に通行できる道路機能確保するため、引き続き当該事業を行っていく必要がある。			
				うち一般財源	667,830	831,638	903,074				
				主な内訳	道路清掃、街路樹管理等の管理費	1,143,113	1,279,713				1,345,530
					街路灯、防護柵等修繕料	471,999	514,211				522,367
					側溝等整備工事費	185,898	216,206				184,300
				人件費(b)	376,200	383,000	377,800				
				年間経費(c)=(a)+(b)	2,177,210	2,393,130	2,429,997				
No.	事業番号	019-097	事務事業名	道路管理	所管局	建設局	所管課	路政課	分類	B 法定義務等事業	
30	基本計画	戦略	—			SDGs 未来都市 計画の 実施との関連	ゴール	—			
	2025 の施策	施策	—				ターゲット	—			
	との関連	取組の方向性	—				主な取組	—			
	事業内容			投入量 (単位:千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見				
道路法に基づく、各種手続き、許可並びに道路敷地の財産管理等を行う。 ①道路敷地の取得・処分に関し、登記・契約等の財産管理に伴う事務 ②沿道敷地所有者との協議により、管理する道路の区域を確定 ③道路の認定、廃止等に係る議会上程手続き及び議決後の認定・区域決定・供用開始等の告示事務 ④道路認定等の告示内容に基づき、道路台帳 (調書・図面) 記載事項の修正を行い、道路台帳を整備 ⑤電気・ガス・水道等のライフラインを始めとする道路占用物件の許可事務				事業費(a)	103,480	92,471	112,528	道路台帳の整備や道路占用許可などの手続きについて、道路台帳管理システムなど各種システムを活用し、事務の効率化を図っている。道路台帳に係るデータは普通交付税等の算出に用いる基礎数値とされており、交付税検査をはじめとした各種照会等に対応した仕様としている。 道路の利活用として、歩道橋ネーミングライツ・パートナー事業を実施し、歳入確保をすすめている。			
				うち一般財源	0	0	10,731				
				主な内訳	道路台帳修正委託料	49,500	54,780				62,971
					公共用地調査測量等事務	1,150	1,369				8,000
					道路占用物件管理システム改修	2,156	0				0
					道路交通情報提供業務	5,657	5,715				6,000
				その他の運営に係る事務経費等	45,017	30,607	35,557				
人件費(b)	150,525	183,100	194,920								
年間経費(c)=(a)+(b)	254,005	275,571	307,448								

令和7年度事業概要一覧表

No.	事業番号	019-098	事務事業名	常磐浜寺線	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	D 建設・整備事業				
31	基本計画	戦略	5.強しなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 実施との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを						
	2025 の施策	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2						
	との関連	取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				主な取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化						
	事業内容						投入量 (単位:千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見				
本市の環状道路ネットワークの形成により、並行する南花田鳳西町線をはじめとする主要道路の慢性的な渋滞を緩和するとともに、物流の効率化や商業立地を促進するもの。また、津波避難対象地域における避難路の役割を担う路線であるため、地域の防災性向上に寄与する。 都市計画：昭和21年5月22日 決定 事業認可：令和元年9月19日～令和10年3月31日 事業区間：西区浜寺諏訪森町東3丁～西区浜寺諏訪森町西4丁 事業延長：L=520m 計画幅員：W29m 車線数：4車線 令和6年度は、用地取得に向けた測量及び物件調査を実施した。					事業費(a)			R5決算	R6決算	R7予算	南海本線連続立体交差事業と一体的な整備を進めることで事業効果の早期発現が見込めるため、南海本線及び阪堺線付近の事業区間などにおいて測量及び物件調査を実施し、着実に用地取得を進めた。なお、財源に国交省からの補助金を充当し、効果的・効率的に事業実施している。 用地取得率：47% (令和6年度 8%増)			
					うち一般財源			51,745	8,584	25,100				
					主な内訳	工事費			0	0				0
						用地費			39,683	0				0
						測量等委託費			10,895	7,639				24,000
						物件移転補償金			0	0				0
						その他			1,167	945				1,100
					人件費(b)			9,309	8,672	14,483				
年間経費(c)=(a)+(b)			61,054	17,256	39,583									
No.	事業番号	019-099	事務事業名	諏訪森神野線 (浜寺・浜寺東地区)	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	D 建設・整備事業				
32	基本計画	戦略	5.強しなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 実施との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを						
	2025 の施策	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2						
	との関連	取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				主な取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化						
	事業内容						投入量 (単位:千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見				
主要幹線道路との連携による道路ネットワークの形成により、生活道路への通過交通の抑制が図られるとともに、平行する道路の交通渋滞の緩和など交通処理機能の向上が図られ、災害時の活動など、防災機能の向上にも寄与する。 都市計画：昭和21年5月22日 決定 事業認可：令和4年3月4日～令和12年3月31日 事業区間：西区浜寺諏訪森町西1丁～西区浜寺諏訪森町東1丁 事業延長：L=569m 車線数：2車線 令和6年度は、用地取得に向けた測量を実施した。					事業費(a)			R5決算	R6決算	R7予算	南海本線連続立体交差事業と一体的な整備を進めることで事業効果の早期発現が見込めるため、事業区間西側から測量及び用地交渉を行い、用地を取得した。なお、財源に国交省からの補助金を充当し、効果的・効率的に事業実施している。 用地取得率：0.2% (令和6年度 0.2%増)			
					うち一般財源			1,844	496	6,600				
					主な内訳	工事費			0	0				0
						用地費			0	0				0
						測量等委託費			1,844	219				6,600
						物件移転補償金			0	0				0
						その他			0	277				0
					人件費(b)			9,309	8,672	14,483				
年間経費(c)=(a)+(b)			11,153	9,168	21,083									

令和7年度事業概要一覧表

No.	事業番号	019-101	事務事業名	公園施設長寿命化修繕事業	所管局	建設局	所管課	公園監理課	分類	D 建設・整備事業	
33	基本計画	戦略	5.強しなやかな都市基盤 ~Resilient~			SDGs	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025の施策との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築			未来都市計画の施策との関連	ターゲット	11.7			
		取組の方向性	①計画的な長寿命化の推進				主な取組	公共施設や都市インフラの計画的な更新・補修の推進			
		事業内容					投入量 (単位:千円)	費用対効果 (事業の効率性) に係る所見			
						R5決算	R6決算	R7予算			
			事業費(a)	224,451	331,782	313,000				・公園施設長寿命化計画に基づき、計画的・効果的に公園施設の改修等を実施した。また、交付金等を活用することで本市の歳出を削減することができた。 ・各公園施設の重要度や規模等により、「予防保全を図る施設」と「事後保全とする施設」に区分し、計画的、効率的な維持管理を行うことで、公園施設の安全性や快適性を確保するとともに、維持管理費の平準化及びライフサイクルコストの縮減を図っている。 ・令和6年度は、長寿命化修繕事業により40施設の修繕工事を完了し、公園利用者の安全・安心な利用環境を確保している。	
			うち一般財源	17,681	63,382	40,900					
		主な内訳	設計業務	8,226	7,049	4,000					
			設備工事費	216,225	273,324	284,000					
			各種計画策定	0	51,409	25,000					
			人件費(b)	40,500	40,500	42,000					
			年間経費(c)=(a)+(b)	264,951	372,282	355,000					
			事業内容					費用対効果 (事業の効率性) に係る所見			
34	基本計画	戦略	—			SDGs	ゴール	—			
	2025の施策との関連	施策	—			未来都市計画の施策との関連	ターゲット	—			
		取組の方向性	—				主な取組	—			
		事業内容					投入量 (単位:千円)	費用対効果 (事業の効率性) に係る所見			
							R5決算	R6決算	R7予算		
				事業費(a)	74,651	88,507	85,142			樹木管理や清掃等の委託業務について、令和5年度の実績を踏まえ発注内容の見直しを行い必要事項の整理・調整により効果的・効率的に河川環境の保全を行った。 また河川点検結果より事前補修箇所の抽出を行い、今後の維持補修費用の平準化を図った。	
				うち一般財源	73,464	87,313	83,954				
			主な内訳	内川ほか樹木管理業務	13,623	14,571	14,060				
		狭間川ほか樹木管理業務		12,038	11,437	12,858					
		大山水路ほか道路排水施設等清掃業務		9,733	10,727	12,046					
		管理河川点検業務		6,028	7,788	10,751					
			その他	33,229	43,984	35,427					
			人件費(b)	19,440	19,440	20,160					
			年間経費(c)=(a)+(b)	94,091	107,947	105,302					
			事業内容					費用対効果 (事業の効率性) に係る所見			
			管理河川及び水路を良好な状態に保ち、安全で快適な河川環境を保全するため、構造物の修繕及び樹木管理・清掃・しゅんせつ等を行う。								
			【令和6年度実績】								
			樹木管理業務：10河川								
			浚渫等業務：2河川3水路								
			点検業務：1河川								
			長寿命化計画更新：8河川								

令和7年度事業概要一覧表

No.	事業番号	019-110	事務事業名	泉北ニュータウン街路樹更新事業	所管局	建設局	所管課	土木監理課	分類	D 建設・整備事業		
35	基本計画	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ～Attractive～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを				
	2025 の施策	施策	(5) 泉北ニュータウンの新たな価値の創造				ターゲット	11.7				
	との関連	取組の方向性	②豊かな緑空間と多様な都市機能の調和				主な取組	公共施設や都市インフラの計画的な更新・補修の推進				
	事業内容						投入量 (単位:千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見		
泉北ニュータウン内において、倒木の危険性や、通行障害、景観機能の低下等が見られる老木木化した街路樹の更新を行う。  (令和6年度実績) 街路樹の更新 144本 進捗率 約38%					事業費(a)			R5決算	R6決算	R7予算	平成29年度を初年度とし、約80路線(区間)と約6,000本の街路樹の更新を順次進めている。当該事業を行うことで、毎年、委託業務発注を行っている街路樹の剪定本数や除草面積の削減ができ、維持管理コストの縮減を図ることができた。令和6年度の予算は全額繰越したため(工事1件)、決算額に反映されていないが、R6年度とR7年度の2年度の平均では、過去と同様の費用対効果を実現できる予定である。  倒木の危険性や通行障害、景観機能の低下等を防ぐため、今後も引き続き当該事業を推進する必要がある。	
					うち一般財源			7,208	0	11,900		
					主な 内 訳	街路樹更新工事			35,908	0		83,000
					人件費(b)			4,050	4,050	4,200		
年間経費(c) = (a)+(b)			39,958	4,050	87,200							
No.	事業番号	019-112	事務事業名	大和川線周辺整備事業	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	D 建設・整備事業		
36	基本計画	戦略	5.強しなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを				
	2025 の施策	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2				
	との関連	取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				主な取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化				
	事業内容						投入量 (単位:千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見		
阪神高速道路大和川線は令和2年3月に全線供用した。 大和川線周辺において、阪神高速道路(株)が実施している西除川河川復旧工事(阪神高速道路(株)施工)や高規格堤防工事(国施工)等に あわせて、堺市が整備・復旧する必要がある道路工事等を実施する。 令和6年度は、歩道拡幅・車道復旧工事を実施した。					事業費(a)			180,923	77,502	0	令和5年3月に阪神高速道路(株)による西除川河川復旧工事が完成し、遊歩道を供用開始した。 令和6年度は、西除川沿いの市道常磐黒土線における歩道拡幅・車道復旧工事を実施し、安全で快適な歩行空間を確保した。これにより、大和川線周辺整備事業は完了した。	
					うち一般財源			50,560	77,502	0		
					主な 内 訳	工事費			129,827	77,502		0
						用地費			0	0		0
						委託費			4,914	0		0
						負担金			45,530	0		0
					事務費			652	0	0		
人件費(b)			9,309	8,672	0							
年間経費(c) = (a)+(b)			190,232	86,174	0							

令和7年度事業概要一覧表

No.	事業番号	019-113	事務事業名	バリアフリー道路特定事業計画	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	G 企画・計画策定・調査研究事業	
37	基本計画	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～		SDGs 未来都市 計画の 実施との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを				
	2025 の施策 との関連	施策	(3) 市民の参加と協働による地域福祉の充実			ターゲット	11.7				
		取組の方向性	④面的・一体的なバリアフリー化の推進			主な取組	ウォーカブルな都市空間の形成				
	事業内容					投入量 (単位:千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見		
	堺市バリアフリー基本構想の見直しを受けて、重点整備地区内の新たに位置付けられた生活関連経路における道路について、道路特定事業計画を策定する。令和6年度は堺駅・堺東駅周辺地区における堺市バリアフリー道路特定事業計画を策定した。					事業費(a)	0	4,268	5,000	・高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（平成18年 法律91号）より、基本構想が作成されたときは、関係する道路管理者は、当該基本構想に即して道路特定事業計画を作成するものとされている。 ・道路特定事業計画の策定は、生活関連施設が集積する一定の区域（重点整備地区）において、旅客施設・車両等、施設間を結ぶ経路（生活関連経路）、都市公園、建築物、路外駐車場等を重点的かつ一体的なバリアフリー化の推進に寄与するものである。	
						うち一般財源	0	4,268	5,000		
						主な 内 訳	調査委託費	0	4,268		
人件費(b)						0	14,747	7,950			
年間経費(c) = (a)+(b)	0	19,015	12,950								
No.	事業番号	019-115	事務事業名	地域整備事務所整備	所管局	建設局	所管課	土木監理課	分類	D 建設・整備事業	
38	基本計画	戦略	—		SDGs 未来都市 計画の 実施との関連	ゴール	—				
	2025 の施策 との関連	施策	—			ターゲット	—				
		取組の方向性	—			主な取組	—				
	事業内容					投入量 (単位:千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見		
	定期点検により、設備老朽化により更新工事を推奨する旨指摘があったことから、南部地域整備事務所高圧受電設備を更新するため、令和7年度に詳細設計業務を行い、令和8年度に改修工事を行う。 高圧受電設備に不具合が生じると事務所周辺地域が停電になる可能性があり停電すると一般市民の生活に影響が出るため早期改修が必要である。					事業費(a)	0	0	10,000	—	
						うち一般財源	0	0	2,500		
						主な 内 訳	委託料	0	0		
人件費(b)						0	0	4,200			
年間経費(c) = (a)+(b)	0	0	14,200								

令和7年度事業概要一覧表

No.	事業番号	019-116	事務事業名	(仮称)新金岡複合公共施設整備事業(建設局)	所管局	建設局	所管課	土木監理課	分類	D 建設・整備事業	
39	基本計画	戦略	—			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	—			
	2025 の施策	施策	—				ターゲット	—			
	との関連	取組の方向性	—				主な取組	—			
	事業内容						投入量 (単位:千円)			費用対効果(事業の効率性)に係る所見	
有事の際に関係機関との迅速な連携が図れ、地域の安心・安全に資する施設として、北消防署・北部地域整備事務所・衛生研究所を移転・集約する。					事業費(a)		R5決算	R6決算	R7予算	本事業は、老朽化した北消防署・北部地域整備事務所・衛生研究所を新金岡地区に新築移転・集約するものである。 R6年度は、既存建築物の解体工事や新施設的设计業務など、新施設建設のための整備に着手した。 今後も、施設の複合化による設計・工事費用の縮減など、費用対効果が得られるよう事業に取り組む。	
					うち一般財源		528	24,014	25,442		
					主な内訳	手数料	0	0	370		
						委託料	1,528	21,270	45,602		
						撤去工事費	0	17,544	26,370		
					人件費(b)		8,100	8,100	8,400		
年間経費(c)=(a)+(b)		9,628	46,914	80,742							
No.	事業番号	019-117	事務事業名	道路掘さく跡復旧	所管局	建設局	所管課	土木監理課	分類	D 建設・整備事業	
40	基本計画	戦略	—			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	—			
	2025 の施策	施策	—				ターゲット	—			
	との関連	取組の方向性	—				主な取組	—			
	事業内容						投入量 (単位:千円)			費用対効果(事業の効率性)に係る所見	
道路占有者による道路掘さく跡の復旧工事は、原則原因者復旧としているが、道路占有者が競合するとき等は、道路管理者が工事費用負担金を受けて施工する。  (令和6年度実績) 工事延長: 5,712m					事業費(a)		R5決算	R6決算	R7予算	実施されている占用工事後の舗装復旧に合わせて、老朽化が進んでいる周辺道路の舗装・側溝などの補修を一体的に行うことで、コストの削減および、効率的な事業の推進を実施している。 今後も引き続き上記と同様の方法で、当該事業を行っていく必要がある。	
					うち一般財源		0	0	0		
					主な内訳	整備工事費	42,447	42,198	11,600		
					人件費(b)		1,620	1,620	1,680		
年間経費(c)=(a)+(b)		44,067	43,818	13,280							